

2025年度

S F

小 論 文

3月12日(水)

グローバル共創科学部

12 : 20 ~ 13 : 40

【後 期 日 程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(3枚)を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら一マスあける。
- ・句読点及び括弧等は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」等はそれぞれ一マスで使う。
- ・行の最後の句読点は、最後のマス目の文字と一緒に書き入れる。

- 6 問題は、声を出して読むではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権の関係上、公表しません。

次の文章は、中村桂子『人類はどこで間違えたのか』より、「農耕社会への移行——手なすけることの意味について」と題する一節からの抜粋である。これを読み、後の問一から問三に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

(注一) ヴィレッジドッグ・・・人間の集落やその周辺で半ば野生の状態で生きるイエイヌのこと。専門家の解析によると、ペットのイヌが野良犬化したのではなく、何千年もの間、ただ人間の近くで生き延びてきたものであり、イヌ科動物が家畜化され始めた当初の状態のゲノムを有していると考えられる。

(注二) 咀嚼(そしゃく)器官・・・咀嚼とは食べ物を口でかみ、粉碎することを指す。歯、歯を支えている歯肉などの組織、顎(あご)を動かすときに使う神経・筋肉、顎関節などを咀嚼器官という。

【中村桂子『人類はどこで間違えたのか——土とヒトの生命誌』(中公新書ラクレ、二〇二四年、二六七頁―二七七頁)。
なお、出題の都合上、原文の一部を省略・改変している。】

問一 傍線部①「自然を手なずけるという感覚」が人間に生まれたのはなぜか。文中の言葉を用いて二二〇字以内で説明しなさい。(配点二〇%)

問二 傍線部②「人間の家畜化」のメリット、デメリットは何か。筆者の考えを三〇〇字以内で書きなさい。(配点三〇%)

問三 傍線部③に関して、現代社会における「自己家畜化」という言葉で表される問題について、筆者は例として大型都市の建設、大量エネルギーの消費を挙げているが、その他であなたが考える具体例を挙げ、それにどう対応していけばよいかを、五〇〇字以内で論じなさい。(配点五〇%)

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文（後期日程試験：令和 7 年度） 1 / 1	問題番号	SF
対 象 学 部・ 学科(課程)等	グローバル共創科学部・グローバル共創科学科		
出題のねらい	農耕社会への移行による自然と人間の関わり方の変化に関する文章を読み、人間が自然を手なずけることにより生じた現代社会の問題点に関する筆者の主張を正確に理解する論理的思考力、そのことを具体的事例の中に見いだし説明することのできる洞察力、自身が課題にどのように対応できるのかについて想像力を働かせ、それを論理的に説明できる文章力を評価する。		
採 点 基 準 (点数は 200点満点)	問1 配点20% (40点) ① 引用されている文章の中で「自然を手なずけるという感覚」が人間に生まれたことについて、筆者がどのように述べているかを正確に理解していること。 ② 上記理解が文中の言葉を用いて表現されていること。 ③ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。 問2 配点30% (60点) ① 「人間の家畜化」という言葉の意味を正確に理解していること。 ② 「人間の家畜化」に関する筆者の主張を理解し、そのメリット及びデメリットを適切かつ簡潔に整理していること。 ③ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。 問3 配点50% (100点) ① 「自己家畜化」という表現で含意される問題意識についての的確に理解していること。 ② 大型都市の建設、大量エネルギーの消費以外の具体例として挙げられている事例が「自己家畜化」の問題を表す事例として適切であること。 ③ 問題にどう対応すればいいかについての記述が明確かつ適切であること。 ④ 文章全体に整合性があること。 ⑤ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。		